

令和5年4月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和5年4月25日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時40分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長(教育総務部長兼務)	疋田洋一	学校教育部長	植山智恵
生涯学習部長	道広浩章	参事(教育給与課長事務取扱)	今村正樹
教育企画総務課長	山邊真由美	教育企画総務課企画調整担当課長	佐藤美穂
学校施設課長	幸勲治	学校指導課長	西山径
教育支援課長	竹中茂樹	保健体育課長	藤井健介
教育研究研修センター所長	八木信英	教育研究研修センター新センター整備担当所長	村尾剛介
生涯学習課長	上野喜宣	オリエント美術館長	横田さなえ
事務局(教育企画総務課主事)	難波実佑		
5 議題及び結果			
報告第15号	岡山市立の小学校、中学校及び義務教育学校の教育職員の給与等に関する条例施行規則の改正について	承認	
報告第16号	岡山市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の改正について	承認	
報告第17号	岡山市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の改正について	承認	
議案第9号	第3期岡山市教育振興基本計画 令和5年度アクションプランの決定について	承認	

6 教育長等の報告 [令和5年3月11日(土)～令和5年4月14日(金)]		
3/26	岡山市ジュニアオーケストラ第24回スプリングコンサート・卒団式	地域子育て支援課
3/25～26	岡山市子ども会ジュニアリーダー研修会	地域子育て支援課
3/26	岡山市子ども会インリーダー研修会	地域子育て支援課
4/12	岡山市婦人大会	生涯学習課
7 議事の概要		
教育長	○ 定刻が参ったので、ただいまから4月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日は傍聴希望者が1名いる。 入室してもらってよろしいか。	
全委員	○ 〈承認〉	
教育長	○ 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。	
全委員	○ 〈承認〉	
教育長	○ 日程第2、こちらに3月定例会の会議録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 それでは、日程第3、事業報告をご覧になって、質問があればお願いします。 事業報告は4件ある。	
教育長	○ では、ご質問等があればお願いします。	
石井委員	○ 岡山市婦人大会は、こういった内容なのか教えてほしい。	
教育長	○ これは代理で岸川教育次長が行ったので、説明をお願いします。	
岸川教育次長	○ 岡山市婦人大会というのは、岡山市教育委員会と岡山市の婦人会が合同で行っているもので、婦人会の方々の教養を高めることも含めて、両方の行動の再確認をして、しっかり地域で子育てを実現していこうというような会議である。婦人会の総会と、第2部で講演をした。	
教育長	○ 毎年これは、行われているのか。	
岸川教育次長	○ そうである。コロナで1年、2年中止した時期があるようには聞いているが、去年が恐らく制限つきで行い、今年は通常開催したと聞いている。	
教育長	○ ほかにあれば、質問よろしいか。	
全委員	○ 〈なし〉	
教育長	○ では、事業報告については以上で終わりたいと思う。 本日非公開となるものはないので、議事に入りたいと思う。 日程第4、報告第15号を教育給与課から説明をお願いします。	
教育給与課長	○ 教育給与課長である。 報告第15号専決処理の報告についてである。 岡山市立の小学校、中学校及び義務教育学校の教育職員の給与等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてであるが、小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する校長、副校長及び教頭に対して支給する管理職手当の額を改めるため、本規則の一部を改正する必要が生じたが、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、岡山市教育委員会事務処理権限規則第6条の規定により、令和5年3月15日に専決処理したので、報告し、承認を求めるものである。 従来、岡山県の制度で管理職手当を支給していたが、今回の改正において岡山市としての考え方で再構築するものである。 説明は以上である。	
教育長	○ 質問、ご意見があったらお願いします。	
石井委員	○ 単純比較はできないと思うけれども、県の職員の方と比べたときに相対的にどうなっているのかとか、あるいはほかの政令指定都市と比べたときにどうなのか、ご説明いただきたい。	
教育給与課長	○ 教育給与課長である。 今回の改正において、県のときの管理職手当の考え方よりも岡山市の管理職手当の考え方に合わせることによって、相対的に金額はアップしている。全ての総	

<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>支給額においてもアップするような形になっている。それと、基本は校長を一本化するところまでいっているの、ほかの政令市においても、私が承知している範囲では5、6市程度は同様に一本化していて、それも、税源移譲の後、給与制度をいろいろ考える中でそういうふうになったという認識をしておるので、そういった流れの一つでこちらも市の考え方を取り入れさせていただいた。</p> <p>以上である。</p> <p>○ ほかにはご意見等あるか。よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、報告第15号を承認してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、報告第15号を承認する。</p>
<p>教育企画総務課長</p>	<p>続いて、報告第16号を教育企画総務課から説明願う。</p> <p>○ 教育企画総務課山邊である。</p> <p>報告第16号についてご説明させていただく。</p> <p>専決処理の報告ということで、岡山市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部を改正する規則の制定について、岡山市教育委員会事務処理権限規則第6条の規定により専決処理をしたので報告し承認を求めているものである。</p> <p>これは、5年4月1日付の機構改革に伴い、局内の課であるとか事務について変更を行ったので、それについての規則等を改正したものである。</p> <p>簡単にご説明をさせていただくと、まず、教育総務部、こちらの教育企画総務課については、係等はないが、その業務の一部を学校教育部就学課の事務として移管している。そのため、就学課に管理係、学校運営支援係というものが出てきている。具体的な業務としては、学校の予算の執行とか備品管理など教育企画総務で持っていたものを就学課に移転したものである。</p> <p>次に、教育総務部の学校施設課について、こちらに施設係を新設している。こちらについては、建築係と設備というのがあったが、そちらを廃止して、施設係というものをつくっている。業務としては、建築係にあった工事の学校施設に伴う工事を市長部局の都市整備局に移している。その業務がなくなった関係で2つの係が廃止され、施設係ができた。</p> <p>次に、学校教育部、こちらには新たに学校指導課、教育支援課という2つの課をつくった。こちらは、旧指導課を2つに分けて、学校指導課に振興係、指導係、人権教育室を置いて、学校指導、教育以外のいじめであるとか生活指導の類いものは、教育支援課に生徒指導係、特別支援教育係を置くなどしているものである。</p> <p>また、それらの課の新設、改廃に伴った文言整理や新たな業務のほうを追加してこの規則の改正を行っているものである。</p> <p>説明は以上である。</p>
<p>教育長 上西委員</p>	<p>○ 説明が終わった。</p> <p>ご質問、ご意見等があったらお願いします。</p> <p>○ 指導課を2つの課に分けるということの趣旨というか目的というか、そのあたりをちょっと説明いただければと思う。</p>
<p>教育長 島田教育次長 教育長</p>	<p>○ 教育支援課を室から課相当に上げたということである。</p> <p>○ やはり複雑化、長期化する生徒指導の関係、あるいはインクルーシブ教育を進めていく上での特別支援、この充実を目指して、課を分けてそれぞれ対応していくため、2課に分けた。</p> <p>○ 前、教育支援室のときは、ラインが1個であった。だから、担当課長がいて、室長がいて、室長補佐がいて、そのどっちが特別支援をするか、生徒指導をするかというところが、人によって違っていたところを、きちっと係に分けたのでラインがはっきりしたというところと、課相当になったので、課長が、担当課長は人事を見ないので、指導課長が全部見る。前のときは、だから児童生徒支援教室なんかも含めて指導課長が面接に行ったりして、100人以上かな、出先も含め</p>

河内委員	<p>て見るのがあったので、その人事も含めて分けて、教育支援課長に権限を持たせたと。そして、今次長が言われた課題に早期に対応できて解決につながれるようにというところで課相当に上げたということである。まだ、始まったばかりなので、やりながらいいようになっていけばいいなと思っている。</p> <p>○ 振興係が学校指導課の中にあるわけだが、これまでその教育支援のほうの関係を、振興係がその関係のお仕事もされていたのではないと思う。こういうふうな課が分かれた形になった場合、振興係のお仕事はどういうふうになるのか。</p> <p>学校施設課は、公共建築課へ大分工事を投じている。</p>
教育支援課長	<p>○ 教育支援課には、庶務がおられる。振興係の業務はそのまま学校指導課のほうに入っているのだけれども、支援課のほうには新たに行政の方2名入っていただいて、その方に庶務をしてもらっている。</p>
教育長	<p>○ 例えば教育センターにも庶務の方がいて、予算措置はしてもらっているから、同じ形か。</p>
教育支援課長	<p>○ そうである。</p>
教育長	<p>○ では、逆に言うと振興係は何をするのか。</p>
教育支援課長	<p>○ 振興は教科書事務などをしている。</p> <p>こういった定例会の学校指導課の関係することであるとか。</p>
教育長	<p>○ 振興は振興できちっとその仕事をできるようになったのかもかもしれない。</p>
教育支援課長	<p>○ そうである。昔振興がなくて指導係の中に庶務があった。</p>
教育長	<p>○ だから、逆に言うと、係は係の仕事をきちっとできる状態になったのではないかということである。</p> <p>それでは、報告第16号を承認してよろしいか。</p>
全委員	<p>○ 〈承認〉</p>
教育長	<p>○ それでは、報告第16号を承認する。</p> <p>続いて、報告第17号を教育企画総務課から説明願う。</p>
教育企画総務課長	<p>○ 失礼する。</p> <p>報告第17号について説明する。</p> <p>こちら、先ほどの議案のように専決処理をした分を報告させていただく。</p> <p>岡山市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について、専決処分を行ったので、その報告をし、承認を求めらるるものである。</p> <p>こちらのほうは、先ほど事務分掌の変更の説明をさせていただいたが、その中で施設課の事務の一部を市長部局都市整備局に移したということの規則の改正になっている。こちらについては、学校施設に係る工事、設計を市長部局のほうに移管したものであるが、金額としては250万円以上のものを市長部局のほうでしていただき、それ以外の学校の簡易な修繕であるとか、それはそのまま施設課で事務を残しているところである。</p> <p>説明は以上である。</p>
教育長	<p>○ ご質問、ご意見等があったらお願いします。</p> <p>よろしいか。</p>
全委員	<p>○ 〈なし〉</p>
教育長	<p>○ では、報告第17号を承認してよろしいか。</p>
全委員	<p>○ 〈承認〉</p>
教育長	<p>○ では、報告第17号を承認する。</p> <p>次に、日程第5、第9号議案を教育企画総務課から説明願う。</p>
教育企画総務課企画調整担当課長	<p>○ 教育企画総務課の佐藤である。</p> <p>第3期岡山市教育振興基本計画令和5年度アクションプランについて説明する。</p> <p>アクションプランは、教育振興基本計画にある施策の実現に向けた単年度の実施計画として位置づけ、毎年度作成しているものである。令和4年度から8年度</p>

を対象とした第3期岡山市教育振興基本計画の推進において、今年度はその2年目に当たっている。

まず、1ページをご覧ください。

岡山市が目指す教育について、第3期教育振興基本計画の内容から抜粋して掲載している。ここでは、岡山市が目指す子ども像、教育の土台となる人権教育の推進、目指す子ども像に迫るための柱となる学校園一貫教育と岡山市地域協働学校、さらにESDやSDGsを位置づけた教育の推進についても触れている。

2ページをご覧ください。

コロナ禍による子どもたちへの様々な影響を鑑み、子どもたちが自然や文化に直接触れる体験や他者と協働して課題を解決していくことの重要性、必要性を改めて確認し、本年度重点的に取り組む学びの土台づくりと目指す子どもの姿との関係を図に示している。

3ページをご覧ください。

こちらでは、岡山市教育振興基本計画アクションプランの実施、点検評価、見直しや改善といったPDCAサイクルについてお示ししている。

4ページ、5ページをご覧ください。

令和5年度に重点的に取り組む事業について、クローズアップとしてまとめている。2ページでお示した重点取組の3つの視点のうち、やる気につながる好奇心の醸成、これを柱の一つに、教職員のスキルの向上と安心・安全で快適な学びの環境整備をまとめて持続的な教育の好循環の創出としてもう一つの柱に、この2つの柱で事業を整理している。

柱1では、学びに向かう原動力となる好奇心を引き出すための体験活動、好奇心を育み広げるための家庭への支援、好奇心をやる気につなげ、次の学びへとつなげるための教員の指導力向上等に向けた事業に整理し、主な事業を上げている。

ここでは、2つの新規事業を簡単に説明する。

1つ目は、めだかの学校における展示等施設の充実である。これは、高い解像度のカメラと展示解説システムを導入し、めだかの体のつくりなど、館内はもちろん、インターネットでも観察できるようにするものとなっている。

2つ目は、オリエント美術館学校連携推進事業である。情報可視化ツールを使って館内でもインターネットでも作品等の検索が容易に行えるようにするもので、学校の授業における活用も想定している。

柱1の図のデザインは、それぞれの事業の充実はもちろん、お示ししている取組が互いにつながることで子どもの好奇心、学びの原動力がさらに大きくなっていくことをイメージして作成している。柱2では、持続的な教育の好循環の創出というテーマでまとめているが、ここでは学校園環境を充実させることで、そこで働きたいという人材が集まり、計画的に充実した研修を受け、岡山市の教育を担う人材へと育っていくという好循環のイメージをお示ししている。この好循環の流れが太く大きくなることで、子どもたちは指導力のある魅力的な教員とともに安全で快適な環境の中で学ぶことができる。結果、岡山市が目指す子ども像に迫ることができるのではないかと考えている。

拡充事業の魅力ある教員の確保事業では、様々な媒体を活用した積極的なPR活動を行うとともに、教員採用試験の秋実施に向けた準備を進めてまいる。

新規事業の新教育研究研修センター（仮称）整備事業では、今年度基本設計及び地質調査契約に向けた事務に取り組む予定としている。

6ページからは、施策ごとの主な事業の一覧になる。

10ページ以降は、各事業の説明となる。今年度の重点取組として説明したクローズアップの関連する事業については、下線を引いている。

続いて、40ページから43ページにわたって事業目標主要一覧を掲載している。令和4年度のアクションプランから、全ての事業においてその目標をお示ししている。指標について、一部、回数や人数といった数値に加え、有用感や満足

<p>教育長 片山委員</p>	<p>感を指標にしているものと、進捗状況等の状態を示している事業がある。 最後の2ページについては、ページ番号を振っていない。こちらは、参考として教育振興基本計画や教育大綱の指標を掲載している。 そして、最後に、このたびのキーワードであるやる気につながる好奇心の醸成に関する目標と指標を掲載している。 説明は以上になる。ご審議をお願いします。</p> <p>○ 何かご質問、ご意見等があったらお願いします。</p> <p>○ 前回の会議でいろいろと数値目標を見直してくださったところ、見直しのご質問等があったところについては今回目標値を変更してのお示しくださっているのだけど、お尋ねできなかったところで1点お尋ねさせていただく。</p> <p>42ページのところなのだが、施策6-1の上から3番目、家庭教育支援アドバイザーの派遣回数というのが目標値が20回になっていて、倍以上増えている目標値になっている。それから、前のページに戻って、41ページのところの施策4-1のところの下から2個目のいじめ専門相談員派遣事業というのも40回から80回に倍増している。それから、その上の同じ施策4-1のスクールカウンセラー配置事業が1万3,000件になっていて、1,500件以上ぐらい増えている目標値になっている。その理由としては、参考のところの後ろから2枚目の参考値の不登校の出現率が小学校、中学校ともに、令和4年の実績値に書かれている令和3年の結果が、やや不登校の出現率が上がっていることを背景にして、これらの相談件数とか派遣回数を増やして不登校の出現の改善等につながるということが狙いになっているという理解でよろしいか。</p>
<p>教育長 生涯学習課長</p>	<p>○ では、先に42ページの家庭教育支援アドバイザー派遣回数のほうをお願いします。</p> <p>○ 生涯学習課である。</p> <p>家庭教育支援事業であるけれども、令和3年度と4年度がコロナの関係で、学校等に派遣して、アドバイザー、そして家庭教育についていろんな分野のお話をしてもらおうということになっているが、こちらのほうがコロナの関係で派遣の要請があまりなくて、5回と9回という数字になっている。今年はコロナの関係でそういう制限がなくなると思うので、20回というふうに回数を増やした目標にさせていただいているものである。</p>
<p>教育長 生涯学習課長 教育長 生涯学習課長</p>	<p>○ これの対象は、保護者か。</p> <p>○ 保護者である。</p> <p>○ PTAの方であるね。</p> <p>○ PTAの方を対象としている。</p>
<p>教育長 河内委員</p>	<p>○ ほかにご質問があればお願いします。</p> <p>○ 4ページの柱1のこの図について、以前、創る、応える、高めるを矢印で結んでいたものが、矢印をなくしてそれぞれがつながっているという感じになっている。それについては、こちらのほうがいいかなと思う。ここから先はその感じ方の問題とか好みかとは思いますが、例えば真ん中にある子どもの好奇心、これは創るというそこに書かれてある事業を充実させることが子どもの好奇心につながり、それから応える、高める、それぞれの推進がまた子どもの好奇心を高めていくというふうなことを考えると、創るという大きな円から子どもの好奇心のほうへ矢印が行き、それから応えるのところからも矢印が行き、高めるのところからも矢印が行き、その矢印が少し、子どもの好奇心がどんどん回っていくというか、動いていくというか、子どもの好奇心っていうのがすごくそれぞれで高まっていくという、醸成されていくっていうイメージができやすいのかなど。</p>
<p>教育長 教育支援課長</p>	<p>○ それでは、スクールカウンセラーといじめ専門相談員について、教育支援課から説明する。このカウンセラーといじめ相談員の派遣回数が増えているのは、不登校とかの課題に対応するのに必要であるし、いじめの認知も増えているからなのか。</p> <p>○ そうである。まず、いじめ相談専門のほうが、いじめの積極認知である。カウ</p>

<p>教育長 教育支援課長 教育長 石井委員</p>	<p>ンセラーのほうは、そのいじめも含むけど、不登校も含む。いろんなものを含むということを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人的にはこの回数は可能ということであるね。 ○ そうである。 ○ ほかに何かあればお願いします。 ○ 新しいクローズアップというのが、結果だけに目が行くというものではなくて、そのプロセスに着目した、特に奥深いもともとの土台の部分に着目したものだというのはすごくいいものだ、改めて感じている。実際に学校の現場の中でそれが培われ、最終的に結果がよくなるという、そういういい循環が本当に生まれていけばいいなと改めて思っている。たくさんの方が書かれてあるけれども、そういういい循環を回していくためにも、この今年のアクションプランについて学校現場に広めていくという活動はどういうスケジュールとか内容で進めていかれるのかというのを改めてお伺いできたらと思う。
<p>教育企画総務課企画調整担当課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育総務課の佐藤である。 <p>今年度の広報計画について、まずは教育長が5月に記者会見を行う予定にしている。4月だったのが事情で5月に移動したのだが、そこで広く保護者、市民の皆様宛てに今回のアクションプランの、つまりは事務局の取組についてお伝えする機会がある。あとは校長会、小学校長会、中学校長会、それから幼稚園、こども園の園長会等にも行かせていただいて、そこで、リーフレットも作製したので、それを使いながらお伝えしていくように計画をしている。教育長のメッセージは年に3回計画していて、現在のところ5月、それから7月、あとは1月というふうに定期的にする予定にしている。それから、デジタルサイネージなども使ってお伝えする。</p>
<p>教育長 教育企画総務課企画調整担当課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルサイネージというと、よく駅で見かけるものであるな。 ○ はい。そこに実際このやる気につながる好奇心っていうキーワードを広めていくように、工夫して広報活動を進めてまいりたいと思っている。それから、広報紙、YouTube等も使って情報発信を、年間を通してして行い、途中経過の子どもたちの状況や様々な施設の状況なども随時発信していく予定にしている。
<p>教育長 石井委員 上西委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ よろしいか。 ○ かなり積極的な広報を行うのですね。 ○ 新学期にうちの娘が、学校から持って帰ってきた。ペーパーに、「やる気につながる好奇心」と載せられていたのを確認した。
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ このモデル図は、結構評判というか、分かりやすいというのはある。これからさらにブラッシュアップしてくれると思う。
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ それでは、第9号議案を原案どおり可決してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ では、第9号議案を原案どおり可決する。 <p>以上で予定していた議案の審議は全て終了した。 以上をもって令和5年4月教育委員会定例会を閉会する。 来月の5月定例会は、都合により午後2時30分から開会予定である。 この後報告案件等があるので、教育委員の皆様にはもうしばらくお時間をいただきたいと思う。 以上で閉会する。</p>

傍聴の状況		
報 一	道 般	1名 0名